

## 小関秀一議員の質問

○平 進介議長 次に、順位12番、議席番号13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 おはようございます。毎日厳しい残暑が続いておりますが、本来ならば秋口でありますので、笑顔で豊穡の秋を迎える時期となっているわけですが、今年はそういう笑顔もなかなか出ないというふうなことであります。早期にコロナ対策の効果が現れて、平穏な暮らしができることを願いながら、9月の一般質問をさせていただきます。

質問については大きく2項目でありますけれども、1番目、長井市公共施設等整備計画の今後についてお尋ねをします。

長井市では、平成26年に長井市第五次総合計画の策定により、持続可能なまちづくりの大きな課題として、公共施設・まちの基盤の老朽化対策を大きく掲げて、平成28年には長井市公共施設等整備計画を策定して現在に至っております。今まで財政難等いろいろな経過があったわけでありまして、この整備計画については10年間で141億3,000万円の計画を策定し、スタートをしました。

公共施設、数々多くあるわけですが、持続可能な施設の維持管理等を公共施設と国で示しました更新費用試算では、今後40年間で長井市の場合、622億4,000万円、1年間平均で15億6,000万円、年間平均で8億円等の投資が出てくるというふうなことであります。インフラについても同様のことで、年間13億円ほど不足をするというふうな試算が出ております。今回については9月の決算であります。各課の来年度に向けた予算編成の時期にも入りますので、例えば市営住宅やら長井市レインボーコンポストセンター等々、いっぱい市の公共施設はあるわけですが、今回上げました部分について質問

をさせていただきます。

まず、第1点目、事業ごとの開始時期については適宜判断をされて、整備計画をスタートしております。市庁舎等、様々な優先順位をつけながらスタートしてきたわけでありすけれども、公共施設の整備計画については、いまだに市民の中には将来負担を危惧する声もあることも事実でありますし、議会としても注視して市民が安心して将来暮らせるまちづくりに邁進する説明が必要であります。

そこで再度、当初の計画と諸課題の中での変遷、変わった点、随時生じるわけでありすけれども、主な事業の変更点、予算規模の現時点での変更、現状等について公共施設整備課長にお尋ねをします。

○平 進介議長 青木邦博公共施設整備課長。

○青木邦博公共施設整備課長 お答えいたします。

長井市の公共施設等整備計画は、平成28年度から令和7年度までの10年間の整備計画を示したものでございまして、前期5年、後期5年に分け、それぞれ概算事業費で、前期が111億3,000万円、後期が29億9,000万円、10年間で概算事業費141億3,000万円となっているのは小関議員がおっしゃるとおりでございます。公共施設等整備計画は、公共施設の老朽化対策、さらに新規整備に関しましては後年度の財政負担軽減、平準化を図りながら、市民サービスを低下することなく施設整備を行っていくために策定されたものでございまして、公共施設に係る方針と大まかな財政需要と、その影響を把握するものでございます。

計画期間の4年間で経過した現在の主な事業の変更点と、現時点での予算規模の現状というご質問でございますが、整備計画の大分類ごとにご説明を申し上げますと、1番の既存施設の箱物につきましては、平野小学校の大規模改修、小中学校空調設備、長井小学校の第一校舎耐震改修、管理棟改築については既に完了いたしま

して、長井市民文化会館の耐震大規模改修については、この7月に竣工で、新市庁舎につきましては来年3月の竣工に向けて、現在、建築中であります。市営住宅等につきましては長井市市営住宅等長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金である公営住宅ストック総合改善事業で順次整備を進捗させております。

変更点ということでは、当初、後期5年計画に予定していた長井市学校給食共同調理場につきまして、建物の耐震性や老朽化が激しく、調理設備につきましても文部科学省が定める学校給食衛生管理基準に合致しない部分が多いという理由から、早急な整備が必要と判断し、前倒しを行いまして、令和2年3月から着工し、令和3年3月の完成を目指しているところでございます。

また、公立置賜長井病院につきましては、置賜広域病院企業団の施設になりますので、当計画には記載しておりませんが、令和元年度から都市構造再編集中支援事業の基幹事業と位置づけまして、令和4年度の開業に向け、現在、施工中でございます。

2番の新規施設、箱物になりますが、観光交流センター道の駅川のみなと長井と豊田学童クラブ新築工事については既に完了してございまして、公共複合施設については公立置賜長井病院と同様に、都市構造再編集中支援事業の基幹事業として本格的な工事の着工については令和3年度からを予定しており、後期5年間に後ろ倒しというふうな形になります。

3番、インフラ整備の長寿命化についてでございますが、各法律に基づく長寿命化計画を策定し、特に橋梁やトンネルにつきましては5年サイクルの点検が義務づけられてございまして、交付決定額にもよりますが、年間二、三橋の整備が確実に進捗している状況でございます。都市公園につきましても長寿命化計画に基づき、あやめ公園運動公園の長井市野球場、多目的運

動広場の整備は完了しております。

4番の道路、河川等のインフラ整備につきましてはでございますが、金井神線道路改良が昨年度竣工し、当市の1級、2級市道につきましては、ほぼ完了しているというふうに考えております。今後はいろんな要望に基づきまして、必要性の精査や市の財政状況を踏まえながら整備を図っていく所存でございます。

なお、計画に記載しております事業費につきましてですが、用地取得費や外構工事費は含まれておらず、また大規模新築施設につきましては延べ床面積が確定していない状況での計画でございましたので、過去の類似施設の事例を参考に算出した、あくまでも大概算の事業費でございまして、基本設計、実施設計を経て初めて実事業費が算出されますので、どうしても長井市公共施設等整備計画の事業費の変更は発生してくるということでございます。

これまで平成29年の12月議会、平成31年の3月議会、今年の3月議会でも答弁申し上げておりますけれども、公共施設等整備計画の前期計画期間が、令和2年度までとなっておりますので、前期5年間の事業計画を振り返り、整備スケジュールや主要施策の事業費、計画全体の総事業費などを確認し、変更が生じた分を反映させた上で、後期計画の見直し、計画の変更を令和3年度に行いたいというふうに考えておるところでございます。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 計画前倒し、あと複合施設等についてはこれからというふうな、いろんな前後あるわけですが、最後に課長からあった総予算額について、これから見直しをしながら後期に入るということであります。しかも用地等については含まない予算計画だったというふうなことでありますけれども、後期分は不確定なところはあるわけですが、用地費は別にしても、先ほど説明もあつた141億円の総予算計画

に、今現在、変更点はありますか。

○平 進介議長 青木邦博公共施設整備課長。

○青木邦博公共施設整備課長 お答えいたします。

総事業費ということでは、大きなくくりでしか今まだ申し上げられないという段階にあります。令和3年度にというお話は今、建築中の新市庁舎や長井市学校給食共同調理場が完成して、正確な数字が出た段階でお知らせするのがベストであろうというふうな考えから来ているものでございます。

ただ、今、施工している施設の中で、やっぱり最も事業費の変更が大きいというのは新市庁舎でございます。というのは、この計画を立てた段階で、どこに建てるかもまず決まっていない、どの程度の施設にするかも決まっていないという状況の中で、この前期期間内に長井駅前に建てるということが決定し、そこで面積等決まったわけですので、ここの部分については一番大きい変更かなというふうに考えております。

ただ、当然、市町村役場機能緊急保全事業債、あと緊急防災・減災事業債、あと地域活性化事業債など、いろんな財源の手当を行いまして、できるだけ大きな事業費の中でも単独の財源が発生しないような努力はしてきたというところでございます。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 ありがとうございます。

事実上スタートしているわけなので、私ども議会も議論し、承認もしながらということであります。財政については、常にこういう自治体組織が動いていく中では、不安なり心配事はつきものでありますけれども、特に課長からもあったように、インフラ整備については1級、2級を含めて大分進んだと、あと、後の質問にもあることでありますけれども、大型の公共施設の予算に隠れてインフラ整備が先送りにならないようなことをぜひ望みたいなというふうには私思っております。後のところで触れたいと思

ます。

次期整備計画について、そろそろ整備計画は5年を迎え、後期に入るわけですので、次のステップ、特に長井市については財政が大変なときに整備なり、修繕なり、先送りをしてきた時代を踏まえますと、これから新しい10年、20年後の長井市の課題について、それぞれの課で見据えていること、市長からは大きな部分で見解をいただきたいなというふうに思います。先ほど公共施設整備課長からは、あやめ公園運動公園の部分についてはインフラ整備が終了しているというふうなことで、あやめ公園内部の将来像がまだ見えていないということでありました。長寿命化計画の中での今後の計画づくり、どういうふうに進めていくのか、建設課長にお尋ねをします。

○平 進介議長 佐原勝博建設課長。

○佐原勝博建設課長 お答えいたします。

長井市のシンボルでありますあやめ公園の将来像につきましては、市民の皆様をはじめ、観光客の皆様にも魅力ある憩いの場となるよう、どのように公園全体を改修していくのか、現在、商工観光課が所管いたしますあやめ公園整備検討委員会、こちらのほうで平成31年3月から検討が重ねられております。今年度中に基本構想が示される予定でございますので、基本構想に基づきまして、補助要綱に沿って公園施設長寿命化対策支援事業により県、国に要望を行い、施設の改築を進めてまいりたいというふうに考えております。

このあやめ公園におきましては、園路や広場、そしてあずまや、これらの改修工事が対象になるかというふうに思っております。また、あやめ会館につきましては、老朽化によりまして建て替えも可能でございますが、管理事務所というような位置づけの対象施設になりますので、物販ですとか食堂などの整備につきましては県や国と今後、協議をしながら進めていくことに

なっていくかというふうに思っております。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 商工観光課で検討委員会で結論を出すというふうなお話でありますので、早期に私どもにもお示しをいただいて、予算、改修の規模なり、スケジュールなりについて教えていただきたいものだなというふうに思っています。

次に、長井市置賜生涯学習プラザの運動公園の整備について、これについてはご承知のとおり、防災公園と第3種公認グラウンドの維持管理等があるわけですが、今後の課題はないのかというふうなことで質問させていただきます。

これについてはおとといですか、利用者について年間、教育長からは約1万8,000人というふうなことで、非常に利用者が多くあると。プラスして、市内外からも朝夕のジョギングとか散歩でも多く利用されているなというふうに、私もちょっと近いのでよく関心を持って見させていただいております。運動公園、防災公園を兼ねた現在の状態については、開園当初、心配された天然芝についても、今年の暑さでも何とか緑を保っているような状況で、維持をさせていただいているということでもありますけれども、今後の維持管理の課題について、生涯スポーツ課長にお尋ねをします。

○平 進介議長 菅 秀一生涯スポーツ課長。

○菅 秀一生涯スポーツ課長 ご質問のありました生涯学習プラザ運動公園の今後の課題ということになります。このことについては先々日の鈴木富美子議員からもご質問ありまして、長井市陸上競技場の走路の一部が沈下しているということでありまして、これに伴い、第3種公認の継続の検定を受けることができずに公認が廃止になっているというような状況であります。これにつきましては、建設課とも協議をしながら、できるだけ早々に改修工事ができるよう、財源の確保なり施工方法等も含めなが

ら検討していきたいというふうに考えております。公認取得についても併せて検討していきたいというふうに考えております。

このほか、施設をご利用いただいている方々からご意見としていただく部分については、休憩場所が欲しいと、日陰がないというようなご意見が多いところであります。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 想定外の走路の陥没が生じているということでありまして、これについてはなかなか正確な報告を私ども受けずに来たわけですが、改修方法等を検討しながら、一昨日の報告では2,000万円を超える工事費が必要になってくるのではないかとということでもありますけれども、抜本的な工事となりますと、またその手法なり予算額が変わってくるんだべなというふうに心配をしております。せっかくあのように整備されたグラウンド、利用者が多いグラウンドを将来、3種としていく整備の方法なり、例えば天然芝の採用の議論のときも、3種でなかったら人工芝でいいんでないとか、いろんな議論が当時もあったわけですが、その辺の探り方も、今回のコース陥没の修理の方法にも非常に大きく関わってくるのではないかなというふうに思いますので、ぜひ都度都度の説明を議会にもお願いをしたいものだなというふうに思います。

あと、もう一つですが、グラウンド周辺の雑草が非常に繁茂しているというふうに私は見受けられますし、利用者なり周辺の地域の方からも言われております。特に目立つのがグラウンドの東ですけれども、南の用水路、北の排水路周辺も全く春から刈られておりません。これについては見栄えということもですが、農業者の立場から申しますと、何十年もカメムシ対策を研究し、議論をしたりして、周辺地域については雑草はヘリコプター防除前には完了するという申し合せで、グラウンドをつくる前から、草刈

りについても協力をしてもらってきた経過があるのに、あのさまというふうに私は思います。ぜひその管理について、課長から実態と、これからどういう計画をしていくのか、回答を求めます。

○平 進介議長 菅 秀一生涯スポーツ課長。

○菅 秀一生涯スポーツ課長 お答えしたいと思います。

長井市置賜生涯学習プラザの緑地の維持管理業務委託につきましては、委託の範囲になりますが、長井市陸上競技場内の芝生の管理、または芝生広場の芝、またはその樹木の管理ということで業務委託をしているところです。

それ以外の周辺につきましては、公益社団法人長井・西置賜地域シルバー人材センターにお願いをしております、年2回の草刈りを依頼しているところです。特に今、小関議員からありました東側、北側について、ちょうど水路が流れていますので、その辺は野川土地改良区とちょっと境界について再度確認をしながら、どこまでこちらで管理をすべきかということについて話し合いをしていきたいというふうに思いますし、特に東側、水路がない部分については、そこは法定外公共物というような形で青水というようなことになっていたようです。そこについても周辺の環境に配慮しながら、草刈りのほうもしていきたいというふうに考えているところです。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 生涯スポーツ課長については最近、短期で担当者が替わると、課長が替わってきたという経過があって、私はその都度、直接話をして、この課題については申入れをしてきたんです。土地改良は私も関わってきたので、当時の話し合いで、話はついており、管理の線引きについては今さら変更するというのではなくて、当然今の説明だと、公益社団法人長井・西置賜地域シルバーさんをお願いをし

て、管理をしていがない部分ですので、来年度以降も、この委託の範囲をちゃんと説明すれば、何もその新しい予算とか特別な予算とかでなくできることだなというふうに私は思うので、ぜひ早期に管理をしてもらって、山形県高等学校駅伝競走大会等と、これからもイベントあるわけですので、見た目もきれいにしていきたいと。

あと、課長からあったように、休憩所等の課題についてはこれから将来に向けて検討いただきたいというふうに思います。

あと、運動公園のほうについては以上で終了しますが、4番目の次の生涯学習プラザ等々の修理についての計画、これについてはどういうふうな対応をしていくのか、お尋ねをします。特にプールの利用者も非常に多くて、さらにはこれから指定管理者制度の導入等も以前から検討しているというふうなことでありますけれども、生涯学習プラザ運動公園の維持管理も含めて考えますと、既存の市内の団体、企業等の指定管理は可能なのかどうかって、非常に首をかしげるところがあり、大変だべなってしまう。これはできれば地元の方が望ましいと私は思いますけれども、様々な提案なり、あるいは助言なりをいただく立場としては、スポーツ関係に手なれた団体や組織の協力も必要になると思いますので、修理等も含めて、障害学習プラザの今後の計画について、生涯スポーツ課長にお尋ねをします。

○平 進介議長 菅 秀一生涯スポーツ課長。

○菅 秀一生涯スポーツ課長 それでは、生涯学習プラザの改修計画、または運営についてということでご質問をいただきました。

国では、インフラ長寿命化基本計画の行動計画というものを作成しまして、国からは各地方自治体に対しまして今年度中に実施計画である個別施設計画を作成するように求められているところでありまして、これによりまして、施設の

点検、劣化、損傷等の老朽化の状況を把握した上で、施設ごとの整備の方向性を定めていくというふうになります。このため、スポーツ施設では生涯学習プラザと武道館を対象に施設の調査を行うということにしております。この調査費については、このたびの9月議会の補正予算のほうに計上しております、今年度中に長寿命化計画を作成する予定であります。

また、現在の長井市公共施設等整備計画の中ではありますが、これは平成28年度から令和7年度までの10年間という中ではありますが、この計画には生涯学習プラザの改修計画については盛り込まれていないところでもありますので、次期の公共施設等整備計画の中に盛り込んでいくのかなというふうに思われます。

また、運営についてであります、昨年度、長井市体育協会を核としまして、指定管理者の導入を目指していたところではありますが、施設運営はともかくも、経営していくという部分では人材が不足しているというような状況があり、事業者選定まで行くことができませんでした。やはり運営、経営のノウハウ等を持った民間事業者等の協力がないと、なかなか難しいのかなというふうに考えているところです。体育施設の指定管理の導入につきましても導入の是非、体制の再構築なども含め、もう少し検討してみたいというふうに考えております。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 個別計画を今年度中に策定するための調査費を今議会に出されているというふうなことでありますので、生涯学習プラザ、あと同時にありました武道館の今後の在り方、整備計画についていろいろ検討されるのだろうなというふうに承知しましたので、ぜひ市民に分かりやすい、そして早期に指定管理者の導入の在り方も含めて検討いただきたいなというふうに思います。

6番目については、今の説明とダブりますの

で省略しまして、5番目、道照寺平スキー場のリフト移転、ナイター設備の検討についてお尋ねをします。

用地の賃貸契約についても昨年度、終了し、さらには圧雪車の導入と整備については順次、進めていただけてきました。今年の冬については雪がなくて、大変残念な結果だったわけですが、今後、整備当初から課題であったナイター設備の件、あとコースの移動を含めてリフトの移動等の要望があつて、なかなか前に進めなかったという経過があるわけですが、その辺も含めて、今後の計画についてお尋ねをします。

○平 進介議長 菅 秀一生涯スポーツ課長。

○菅 秀一生涯スポーツ課長 ただいま小関議員からありましたリフトの移転、またナイターの設備等についてということですが、平成29年12月1日付で長井市体育協会、長井スキー連盟、道照寺平スキー場整備促進協議会、道照寺平スキー場運営委員会の4者の連名で、総合的な滑走斜面整備に関する要望書というのをいただいております。その中ではアンバーリフトの移設、ナイター設備の設置であります、現状では大型公共施設整備が始まっている中では、財政計画上においてもすぐには整備にならないというふうに思われます。整備に当たっては、以前から補助率の高い補助事業というものを探しているところではありますが、まずなかなか見いだせていないというような状況があります。これはこのような補助事業が採択にならないとスキー場の整備については困難な状況なのかなというふうに思っているところです。引き続き財源の確保ができるよう、調査をしていきたいというふうに考えております。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 説明あつたとおり、財源が厳しいというふうなことについては承知しておりますし、補助事業を探していただくと

いうことはありますけれども、今、課長からあったように、リフトの移転、いわゆるコース取りのことも含めて、これは必要だという認識だと私は伺ったんですが、ナイターの有無については、やっぱりこれ議論が必要で、ナイター人口なり、予算がどのぐらいかかるのか、ぜひ事業が財源確保を含めて前に進めるように検討いただきたいなというふうに思います。

あと、さっき公共施設整備課長からあったインフラ整備、これについて質問に移ります。10年間で13億8,000万円のインフラ整備を予定しておいて、道路については大分進捗してきたんだというふうな説明でありました。私が気になるのは、大型公共施設の整備のために、市民の方々が要望しているような道路の修理とか、新しいのはなかなか難しいのかもしれないけども、水路や橋の整備等に予算が回せなくなってくるのではないかというふうな心配を今までしてきたわけです。あと5年もすると、大分その橋についても安全性が不安視されるものが出てくるということでもありますけれども、再度、建設課長からこの辺の考え方について、インフラ整備の今後の計画、あと市民の要望にどう応えているのかお尋ねをします。

○平 進介議長 佐原勝博建設課長。

○佐原勝博建設課長 お答えいたします。

現在、長井駅前の都市再生整備事業での道路工事、こちらに並行しまして、成田地区の川原屋敷若宮線ですとか、西根地区の築地線など、10か所の市道の整備を行っているところでございます。

議員からありますとおり、市のほうには毎年度、地区や団体から大変多くの要望をいただいているところでございます。例えば昨年度につきましては、19の地区や団体から112件の要望がございました。そのうち40件につきましては道路について、拡幅ですとか舗装の要望ということでございました。建設課のほうでは緊急性

や公共性などを優先度を考慮しながら対応しているところでございます。やはり道路改良等は多額の予算を要しますので、そんなに多くは工事は入れないのですが、修理ですとか側溝の整備、こういったものは年度内になるだけ早く改修できるように対応しているところでございます。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 随時というふうなことで、地区の要望なり、補修についてはやっぱり緊急性あるものが多いわけですので、ぜひ整備に手抜かりのないように、しかも大きいものについては計画性をもって進めていただきたいと思います。

後の3つについては市長からお聞きをします。これも10年間の長井市公共施設等整備計画には入っていない部分ですので、今後どういう考えをするかについてお尋ねをしたいなというふうに思いました。

1つ目、児童センターの整備計画、これについては新耐震化基準を確保しているということでもありますので、耐震について云々はないのかなというふうに私は想像しておるわけですが、年数がたてばリフォームなり、今回のコロナ対策等でいろんな空調なりの対策等も取られておるわけですが、児童センターについて、市長は今後どういう計画を考えておられるのか、これは大分長期の部分もありますので、お考えだけ。

○平 進介議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答え申し上げます。

小関議員からは公共施設の整備と、それから道路とか水路等のインフラっていう言い方をされてますが、その整備についてのいわゆる公共施設整備にいろいろお金をかけ過ぎてインフラをおろそかになってはいけないということと、公共施設整備の事業費が増えるんじゃないかと、こういうことだったんですが、その点につ

いて2つほど私からちょっと先に言わせていただきたいんですが、根幹の部分なんですよね。

まず、事業費については、例えばインフラの事業費で13億8,000万円ってありますけども、これが財源によって大きく違うんですね。結局、国の補助を受けられる路線ですと、半分で負担は済むんですよ。事業費よりも財源が大切だと思ってるんですね。したがって、例えば当初10億円だったのが、何だ、12億円になったんじゃないかということも問題かもしれませんが、私どもとしては10億円のときは自己負担が7億円だったと。ところが12億円になって、自己負担が同じ7億円だったと。2億円の増えた部分で余計にできると、そういうことが大切だと思ってるんですね。

あと、公共施設整備については、平成30年度の歳入歳出決算の監査報告書、意見書などを見ていただくと分かりますように、長井市のいわゆる公共施設、これは箱物です。それについては極端に古くなって、例えば類似団体と比較しますと、市民1人当たりの資産、それが大体長井市の場合、100万円ちょっとだと。ところが、類似大体は200万円以上だと。要はそれだけ長井市民1人当たりの公共施設の整備ってありますか、資産が古くなって価値がないということなんですよね。それが減価償却率っていう言い方に表していただいていますけども、それでは類似団体で48%、ところが長井市の場合だったら、もう七十七、八%ぐらいの減価償却率だと。要はみんなぼろぼろだということなんです。

ですから今、大型の公共事業やっていますけども、行っているのは昭和30年代、40年代のものですよ。これから申し上げる例えば児童センターにしても、長井市老人福祉センターにしても、長井市すみれ学園にしても、50年代なんです。ですから、古いものがもうどうしようもなくなってるわけですから、次の世代に負担を負わせ

るんじゃないかという言い方はあるんですが、逆にこのまま何もしなかったら、次世代に何も残らないということなんです。どこかで整備をしないと長井市っていう公共施設の中の、いわゆる住民福祉の部分の施設が全くなくなるわけですから、そういったことも加味しながら、やっぱり総合的に判断しなきゃいけないと。個別個別の質問をいただいて、それに答えるのは答えられますけども、全体のところを議論しないで個別のことを聞かれても、批判されても私どもとしては、それは全体のことを考えて、いろいろ意見交換しましょうというふうに考えております。

長くなりましたけども、児童センターの整備につきましては、まずは昨年3つの保育施設、おひさま保育園、星の子保育園、白山こども園について、それぞれ定員も増やしていただいて、国の補助を受けながら、市でも補助しながら進めてまいりました。今年は小桜幼稚園ということで、計画をされてるようです。そういったところに私も民間と一緒に市でも力を入れていくと。

一方のお尋ねの児童センターについては、西根が一番古くて、昭和62年、致芳児童センターが昭和63年、平野児童センターと伊佐沢児童センターが平成4年、豊田児童センターが平成7年と、比較的全部新しいんですね。耐震化も全て行っています。エアコンもつけてます。ただ、今のほかの新しい保育園と比べれば、やっぱり古い施設だということは否めません。ですから、これは一日でも早くしたいです。ただ、先ほど申し上げましたように、ほかに古いのがたくさん残ってるわけですよ。それを放置していくわけにもいかないだろうと。ですから、要らないものを要らないで、やめるのか、あるいは必要なものはどういうふうにして大規模改修とか新築改築するかということが重要だと思っております。



時間もありませんので、この程度で、児童センターについても、いずれ全体の、次の10年の公共施設等整備計画の中で検討していくものというふうに考えております。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 市長がおっしゃるとおりで、私、今回の質問については一つ一つ早期にというよりは、やっぱり大方は次の整備計画について、そろそろ各課、各施設ごとにステップを踏んでいがんねんだべなというふうな意味を込めて質問をさせていただいておりますので、反対をしているというようなことで、予算は多くなってんなでねえかとかっていうつもりでは思っておりません。しかも県、国の支出金とか財政の中身について考えますと、今、市長がおっしゃったように、予算はともあれ、自己財源をどういうふうに確保していくんだということのほうが非常に大事なことだなと思うし、今、市長からもあったように、これからいっぱいしんなねことを10年後にするのか、20年後にするのかということも、絶対今から準備をしていかんな部分だべなと思うので質問させていただいたわけです。

恐らく今の市長からの話だと、9番目の長井市老人福祉センターについてもそのとおりだろうなというふうに思いますので、すみれ学園のことだけ、もし計画が少し具体化しておる部分あれば、市長からお聞きをしたいと思います。

○平 進介議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 長井市すみれ学園のことについて申し上げたいと思います。

すみれ学園につきましては、現在、直轄で行ってるんですが、その施設は大変老朽化して、かつて花作町にあったすみれ学園を、非常に危険だということで取り壊して、旧清水保育園を使わせていただいているわけなんですけど、非常にいい園長をはじめ保育士の先生方、関係者が努力して、10年前ぐらいは二、三人だったんで

すね。それが現在はもう20人近く、しかも長井市だけじゃなくて周りのまちからたくさん、きちんと扱っていただけるということで保護者から支えられて、なくてはならない施設となっております。

そこで、直営でやる場合は、もうそろそろ建てざるを得ないんですけども、ただ、どのぐらい事業費かかるか分かりませんが、仮に事業費が1億円だったとしますと、それが私も直営で建てますと、全額単独の起債に頼るしかない。ところが、それが私どもじゃなくてどこかの社会福祉法人とか、そういったところで運営していただければ、市でもその一部は負担しますけども、4分の3の補助を受けて建てることできると。これからいろんなものを建てなきゃいけないということを考えますと、やっぱりそういった形を取るべきだと思っております。現在のところは長井市社会福祉協議会に何とか受けてもらえないかと、移管という形ですね、ただ、社会福祉協議会のほうでは、移管としては赤字になるので厳しいという回答はございますが、できれば社会福祉協議会に移管して、そして私どもが補助するような形で運営していこうと。さらにはすみれ学園を活用いただいている白鷹町、飯豊町、小国町、あるいは川西町、南陽市の市町からも運営費等々は応援していただきながら、やっぱりなくてはならない施設なので、そういった運営の仕方を考えていかなきゃいけないなというふうに考えているところです。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 ぜひそういう運営について検討していただきながら、今説明あったように、経費負担の少ない方法を探っていただきたいと思います。

時間が少なくなりましたので、先ほど、コロナに対する経済対策について、蒲生議員から大分細かく質問と回答がございましたので、少し

急いで回答していただきたいと思います。

最初、農業分野でのコロナ禍による影響でありますけれども、今後予想されます出来秋のいろんな相場等もあるわけですが、例えば収穫祭とか共催している地産地消とかも含めての秋冬にかけての農業関係の今後の支援策なり、対策なりについて、農林課長にお尋ねします。

○平 進介議長 沼澤孝典農林課長。

○沼澤孝典農林課長 お答えいたします。

ただいまありましたながい地産地消まつり等々の計画でございますけれども、つい先日、関係団体の協議ございまして、残念ながら今年度については前年どおりの開催はちょっと難しいのではないかとというような一定の結論を得たそうでございます。ただ、JA山形おきたまさんとか個別の団体の中で、できるだけ地産地消に寄与するようなイベント等については、それぞれの立場で検討をさらに重ねていくというようなことのようにございました。

市内農業関係の影響を端折ってご説明申し上げますけれども、肉用牛、米沢牛、それから切り花等でございますけれども、6月以降、回復傾向にはあるというようなことのようにございます。特に11月以降、ギフト商戦であったり、これから予想されるイベントの自粛解除、さらには来春、また卒業シーズン、入学シーズンでございますので、それに向けてさらに回復していければよいのですけれども、残念ながらJAサイドでも劇的な回復はなかなか難しいのではないかと見ているようにございます。

野菜、果樹等については6月以降、変わらない状況で、そんなにも影響はないというふうなところでございました。

米でございますけれども、6月以降でございますが、やはり飲食店向けで直販をしている農家の方についてはキャンセルされる場合が出ているというふうなところでございます。また、業務用のはえぬきでございますが、農協取扱分

でございますけれども、予定数量に達していない、販売のペースが落ちているというような情報もございます。また、今年度産米の価格でございますけれども、全体的に需要が緩む傾向にあるというふうなことで、県産米についても若干の下降はあるのではないかと見ているようにございます。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 その次に、市内の製造業、あと併せて商店・サービス業の影響、今後の支援策、また同じ商工観光課長からでありますので、GoToキャンペーン等の市内観光業の影響と実態について、時間もないので、簡単に説明をいただきたいと思います。

○平 進介議長 赤間茂樹商工観光課長。

○赤間茂樹商工観光課長 まず、コロナ禍における市内製造業、それから商店・サービス業などへの影響につきましては、製造業につきましては先ほど産業参事のほうからお答え申し上げましたので、ちょっと省略させていただきます。商店・サービス業につきましては、市の政策としても家賃補助、それからデリバリー、テークアウトなどへの支援、また県の緊急経営改善支援金などを利用することを市のほうでも促しております。6月の長井市プレミアム付商品券の販売、8月の第二弾の販売ということで、支援をしてきております。

小売業については大分、回復傾向にあるなというふうに思っておりますが、飲食業につきましては、やはり商品券のほうもまだ売れ残りがあるということを見て分かります。回復には至っていないなという状況です。ただし市のほうで別の補助金も用意しております。新しい生活様式に基づいたガイドライン対応型という店舗の様々な除菌やら、それから空調などに使える補助金ありますので、そちらを今進めております。併せてまち歩き安心サポートシステム事業への登録ということで、安心して来店い

ただける環境づくりを進めているところでございます。

あと、G o T o キャンペーン関連でございますが、国のほうでは7月22日にG o T o トラベルを開始いたしました。ただ、ちょっと取組が遅れておまして、8月3日にやっと東北では事業者への説明会があったというふうなことで、長井市でもお盆過ぎに宿泊業者に呼びかけまして登録をしていただいたところです。長井市では5件の宿泊業者に登録いただきました。というふうな状況でございます、G o T o トラベルについて今のところ実績はまだ上がってないというような状況が現実でございます。

ただ、県のほうの県民泊まって応援キャンペーン、県民泊まって元気キャンペーンにつきましては、やまがたアルカディア観光局を通して申し込まれて当選された方も256名おりますし、実績としては県民泊まって応援キャンペーンのほうは市内に65名利用があったというふうに伺っているところでございます。

○平 進介議長 13番、小関秀一議員。

○13番 小関秀一議員 少し時間が不足しましたので、通告しております長井市東京事務所の実態、あとフラワー長井線の利用者の影響等々について、あと、先頃説明あったふるさと長井会の会員についても今年に入ってから非常に増えているという実績もあるようですので、決算に絡ませながら同じような質問をさせていただきますので、今回についてはご了承いただきたいというふうに思います。

フラワー長井線の利用についても、前段の質問で70%ぐらい利用者が減っているというふうな説明あったわけですし、私はコロナ禍の中でこれは致し方ない部分と、経営として非常に大変な部分を抱えていくのかなというふうに心配もしておるので、答弁をいただけない時間取りにおわびを申し上げながら、以上で今回の質問を終了させていただきます。ありがとうございます

ました。

○平 進介議長 ここで昼食のため暫時休憩いたします。

再開は午後1時といたします。

午後 0時02分 休憩

午後 1時00分 再開

○平 進介議長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

市政一般に関する質問を続行いたします。

### 竹田陽一議員の質問

○平 進介議長 順位13番、議席番号5番、竹田陽一議員。

(5番竹田陽一議員登壇)

○5番 竹田陽一議員 皆さん、こんにちは。共創長井の竹田です。

初めに、新型コロナウイルスによりお亡くなりになりました方々にお悔やみを申し上げますとともに、罹患されました方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、感染拡大防止にご尽力されておられる医療関係者をはじめとした多くの皆様に、心より感謝申し上げます。安全性が高いワクチンや治療薬が開発され、この感染症が普通の病気と言われるくらい健康被害が抑えられる日が来ることを強く願っております。

また、7月豪雨により被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、本定例会における一般質問は、鳥獣被害対策の強化について、公共施設の適正管理について及び中学校へのスマートフォンの持込みについての3件であります。